

## 道化師で笑顔と癒やしを



作品の前に「優しい雰囲気絵に仕上げた」と話す鈴木さん

### 製鉄記念室蘭病院 鈴木さん絵画展

病室を道化師が訪ねて患者を励ます「ホスピタルクラウン」にちなみ、道化師を主題にした絵画で知られる室蘭在住の画家鈴木強さんの個展が17日、製鉄記念室蘭病院2階せいてつギャラリーで始まった。

ホスピタルクラウンは欧米で発達した芸で患者を楽しませる専門職。「本物を招くことは難しいが、絵で患者に笑顔と癒やしを届けたい」(同院経営企画課)と同病院が企画した。

サーカスをテーマにした「STAGE」シリーズの3〜30号の7点。クリーム色の背景と緑の窓を背に、道化師が玉やトランプなどサーカスで使う小道具を持ちたたずむ。表情は優しげにも物憂げにも見える。鈴木さんは「子供のころ楽しんでサーカスをテーマに心象風景を描いた」と話す。

無料。11月25日まで。問い合わせは経営企画課 ☎0143・47・4404へ。  
(生田憲)